



worldswallowingday  
survey



- English
- Español
- Encuesta Español
- Português
- Français
- Italian
- 日本語
- Polish
- Farsi (Iran)
- Ελληνική Γλώσσα

## 2016年世界嚥下デイの調査について 概要と目的

World Swallowing Day (世界嚥下デイ) は、医療関係者と一般市民を対象とした世界規模の啓発活動です。嚥下と嚥下障害の原因、早期発見、合併症、治療についての知識を深めることを目的としています。The European Society for Swallowing Disorders (ESSD, ヨーロッパ嚥下学会) は、嚥下障害に関する簡易な調査を行うことで、この啓発活動に参加しています。調査では、世界嚥下デイの週（今年は2016年12月12日（月）～12月16日（金））に実施した嚥下のスクリーニングや嚥下評価件数、その際に使用したスクリーニング検査や評価法の名称、評価を受けた患者のタイプ、嚥下障害のレポート方法を収集します。これらの情報の調査に加え、現状の認知度向上のために、ESSDは医療診療録の中で嚥下障害のICDコードを使用することを推奨します。

世界嚥下デイは、2011年12月12日にサウジアラビアのリヤドにあるキングサウド大学のVoice, Swallowing, and Communication Disorders (RCVASD)のMohamed Farahat准教授によって創設されました。ヨーロッパ音声医学協会（UEP）はこの運動に賛同し、2013年から、サウジアラビア、クウェイト、ドバイ、ドイツにおいて啓発活動を行ってきました。また時を同じくして、ESSDも2011年から「嚥下デイ」の制定を目指して、嚥下障害のスクリーニングと評価に関する予備調査を開始しました。また、世界嚥下デイをWHOに認知される世界的活動へと押し進めるため、ESSDは、カナダ、ブラジル、日本の嚥下障害関連学会と協議しました。共通の目的で開始されたこれら2つの企画は、2014年に世界嚥下デイとして統合されました。



御連絡先を御記入下さい。続いて、12月12日-12月16日までに嚥下障害のスクリーニング/評価を行った患者さんに関する情報を御記入下さい。

Q1 医療関係者の方：ご自身に関して以下の情報をご記入下さい。

名前

職種

病院 / クリニック / コンサルタント

市区町村

国

Email

電話

Q2 所属機関の種別

- 急性期病院
- リハビリテーション病院
- プライマリケア・一次医療
- 緩和ケア
- 老人ホーム/高齢者施設
- コンサルタント業務
- その他

具体的にお書きください。

12月12日から12月16日の間に行った嚥下評価について

Q3 12月12日から12月16日に、何名の患者をスクリーニング/評価しましたか？

「嚥下障害あり」であった患者は何名でしたか？

「嚥下障害あり」と評価した患者のうち、何名を診療録に嚥下障害ありと記載しましたか？

何例、診療録に嚥下障害をICDコード(ICD 10: R13, ICD 9: 787.20)で記載しましたか？

Q4 それぞれの嚥下障害のタイプについて、評価した人数をご記入下さい。

高齢者

神経変性疾患患者

頭頸部疾患の患者

脳血管疾患

その他

Q5 ベッドサイドで評価した患者数を病棟ごとに記入して下さい

救急

耳鼻咽喉科

老年病科

ICU

内科

神経内科

脳卒中ユニット

腫瘍内科

精神科

放射線科

プライマリケア・一次医療

老人ホーム/高齢者施設

その他

Q6 嚥下障害のスクリーニングを行ないましたか？ どのような方法で評価しましたか。

- EAT-10
- Sydney Swallowing Questionnaire (SSQ)
- Mann Assessment of Swallowing Ability (MASA)
- Toronto Bedside Swallowing Screening Test TOR-BSST
- 水飲みテスト
- Volume-Viscosity Swallowing Test (V-VST)
- その他

具体的にお書きください

Q7 スクリーニング後に機器を用いた評価を推奨した例はありましたか？ どの評価法を使用しましたか？

- 嚥下造影検査（VF）
- 嚥下内視鏡検査（VE）
- マノメリー
- その他

具体的にお書きください

Q8 嚥下学会に所属していますか？

- Adult Dysphagia Special Interest Group, Ireland
- ASHA American Speech-Language-Hearing Association
- AAD Asociación Argentina de Disfagia
- BSSD Belgian Society for Swallowing Disorders
- DGD German Society for Dysphagia
- DRS Dysphagia Research Society, US
- ESSD European Society for Swallowing Disorders
- Finnish Dysphagia Society
- GISD Gruppo Italiano Studio Disfagia
- JSRD Japanese Society for Dysphagia and Rehabilitation
- Korean Dysphagia Society
- NFOSD National Foundation of Swallowing Disorders, US
- SGD Schweizerische Gesellschaft für Dyshagie, Switzerland
- TDRS Turkish Dysphagia Research Society
- UKSRG UK Swallowing Research Group
- No
- その他

具体的にお書きください

教育とトレーニングについて

Q9 教育とトレーニングについて：あなたが受けた教育過程には、嚥下障害のリハビリテーションに関するトレーニングはありましたか？

- 詳しくあった
- あったが表面的だった
- 全く無かった

コメント

Q10 嚥下障害のリハビリテーションに関して、専門的な認定トレーニングを受けたことがありますか？「はい」の場合は、どのようなトレーニングであったか記入してください。

- はい
- いいえ

コメント

Q11 嚥下障害のリハビリテーションに関する臨床ガイドラインを使っていますか？「はい」の場合、どのガイドラインか記入してください。

- はい
- いいえ

コメント

Q12 嚥下障害に関する学術集会に参加していますか？「はい」の場合は、その学術集会を記入してください。

- はい
- いいえ

コメント